

東京地区

令和元年

橋梁技術発表会 及び講演会

参加費
無料

定員
650名

申込
先着順

及び

講演会

— 伊藤學賞表彰式 —

第1部 技術発表	13:00~13:10	開会の辞 (一社)日本橋梁建設協会 会長 満岡 次郎
	13:10~13:50	① 連続合成2主桁橋の設計例と解説について ~H29道示による設計もこれで大丈夫~ 設計小委員会 掘井 滋則
	13:50~14:00	休憩
	14:00~14:40	② 製作・溶接・防食に関する研究 ~製作小委員会における最近の活動報告~ 製作小委員会 村上 貴紀
	14:40~15:20	③ 東西水路横断橋(仮称)多軸台車と台船を使用した大ブロック一括架設 ~架設重量7000tを超える大型地組ブロックのロールオンと台船架設について~ 架設小委員会 折戸 宏行
15:20~15:30	休憩	
第2部 伊藤學賞 表彰式	15:30~15:40	① 受賞者紹介
	15:40~15:50	② 表彰式
	15:50~16:10	③ 伊藤學賞受賞者による講演
16:10~16:25	休憩	
第3部 特別講演	16:25~17:05	関東地方における道づくりの話題 国土交通省関東地方整備局 道路部長 山本 悟司 
	17:05~17:10	閉会の辞 橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 上原 正

日時 令和元年 **10月4日(金)** 13:00~17:10

会場 **銀座ブロッサム(中央会館)ホール**
東京都中央区銀座2-15-6

申し込み ホームページ(URL) <https://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和元年8月23日~9月20日
※申し込みは、HPのみです。

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル9階
TEL.03-3507-5225

継続教育 CPDS認定予定

開催地区 ●東京地区:10月4日(金) ●東北地区:10月25日(金)
●中部地区:10月11日(金) ●北海道地区:11月1日(金)
●大阪地区:10月16日(水) ●九州地区:11月8日(金)
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布 論文およびPPTのpdfは事前にHPにアップ致しますので、必要に応じて出力し持参願います。

【アクセス】



●東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分
●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3-5番出口」徒歩8分

主催:  一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

<https://www.jasbc.or.jp/>

1 連続合成2主桁橋の設計例と解説について

「連続合成2主桁橋の設計例と解説」は、平成13年の発刊以来、連続合成桁の設計テキストとして多くの皆さまにご利用頂いて参りました。当協会では、平成29年の道路橋示方書(以下、道示)の改定に合わせて、まず単純合成桁の計算例である「合成桁の設計例と解説」を平成30年2月に改訂いたしました。本テキストは、その連続合成2主桁橋編となります。今回の道示改定では、許容応力度設計法から部分係数設計法へ移行しただけではなく、橋に求められる要求性能がより明確化され、耐荷性能の照査方法も大きく変わりました。ここでは、新旧道示による主桁断面の違いや、ずれ止め、横桁の設計等について分かり易く解説します。

2 製作・溶接・防食に関する研究

製作小委員会は、製作部会、防食部会、耐候性鋼橋梁部会の3部会から構成されます。

製作部会では、裏波ビードを有する片面溶接の疲労強度など、溶接を主体とした研究を行っており、昨年度から組立溶接の規定緩和に向けた研究を行っています。また、i-Constructionへの取り組みとして、鋼材検査証明書(ミルシート)の電子化の検討を行っています。防食部会では、防食の観点からの鋼構造物の耐久性向上を目的とした研究を行っています。腐食環境の厳しい沖縄県に位置する暴露試験場において、橋梁上部工を模した大型試験桁を用いて新規塗料および金属溶射の比較試験、部材面取りの要否確認試験など実施しています。耐候性鋼橋梁部会では、新しい技術を用いた既設耐候性鋼橋梁のさびの評価方法について研究しており、最近では、点検時の外観評価から補修の必要性を判断する方法を検討しました。また、耐候性鋼用表面処理剤を塗布した鋼材の外観の経年変化は製品によって異なるため、暴露試験により経年変化の特徴を確認しています。

本発表会では、製作小委員会3部会の研究成果や途中経過の概略について発表します。

3 東西水路横断橋(仮称)多軸台車と台船を使用した大ブロック一括架設

本橋の架設地点である東西水路は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での使用が計画されています。この幅約200mの水路に支間長約250mの鋼単純二ルセンローゼ橋を大ブロック一括架設しました。

大ブロックは架設地点傍のヤードで地組し、架設作業は多軸台車を用いたヤード移動、台船へのロールオン、水路内移動、台船バラスト調整と潮位を利用した架設作業、架設後の降下作業までを約1週間かけ実施しました。

本発表では大ブロック一括架設の移動から降下まで一連の作業について報告します。

特別講演会 講演者紹介

国土交通省関東地方整備局 道路部長 山本 悟司

講演テーマ

関東地方における道づくりの話題

【略歴】

平成22年 4月 九州地方整備局 福岡国道事務所長
平成23年 9月 大臣官房技術調査課
環境安全・地理空間情報技術調整官
平成26年10月 道路局企画課 道路経済調査室長
平成28年 6月 京都府 建設交通部長
平成30年 4月 国土交通省 大臣官房付
平成30年 7月 関東地方整備局 道路部長

【講演概要】

広大な関東平野と多様な地勢で形成され、約4,600万人が暮らす大都市圏で、かつ、日本経済を牽引する中枢機能を集積している関東地方。脆弱国土、加速するインフラ老朽化、激化する国際競争などの課題に直面している中、関東地方整備局では限られた財政資源で持続性を持って社会資本の蓄積・高度化の効果を最大限に発揮させるために様々な施策に取り組んでいる。今回、道路事業における施策について紹介させていただきますが「関東の道づくり」を考える機会になればと思います。

令和元年度

橋梁術発表会

東京地区

10月4日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。